



63 群馬交響楽団 × レナード・スラットキン

地元群馬交響楽団の演奏は小学生の時から何十回も聴くほど親しんできました。

移動音楽教室では小学校・中学校の体育館で、高校生の時は授業として文化会館でドボルザークの新世界などの名曲を当時常任指揮者だった遠山信二さんの指揮で聴き、また芥川也寸志の指揮でご自身作曲の映画八甲田山や八つ墓村の音楽を、そして高崎市の商店街などの演奏ではエネルギーで躍動感のある響きを楽しんできました。

芥川也寸志さんは群響(群馬交響楽団をこう呼ぶ)を非常に反応が良い楽団だと評しておりました。ただ金管の音色は独特で、今風の美しさとは違うものでした。高崎の群馬音楽センター(1961年に建てられたコンサートホール。建築家アントニン・レーモンドの代表作)では、よく響くというホールではありませんでしたが柔らかい響きを楽しんできました。



群響の拠点が、2019年から群馬音楽センターから高崎芸術劇場に移り、ぜひそこで群響の演奏を聴きたいと思っていたところ、大好きなレナード・スラットキンが指揮するステージがあると知りすぐチケットを買い求めました。

【プログラム】

1. シンディー・マクティー作曲 サーキット

シンディー・マクティーはレナード・スラットキンの奥様で作曲家。曲は現代音楽ですがジャズ要素も多く、わかりやすいメロディーというわけではなかったですが聴きごこちの良い曲でした。

2. アーロン・コープランド作曲 アパラチアの春 全曲

「アパラチアの春」は有名な曲で特に後半に賛美歌「シンプルギフト」のメロディーが何度も出て来ます。アメリカでよく聴いた「シンプルギフト」ですのでこれを聴けてうれしかったです。

3. レナード・バーンスタイン作曲 キャンディード序曲

バーンスタインや佐渡裕がよく演奏している大好きな曲です。今回の群響とスラットキンの演奏はメロディーラインがきれいで、普段よく聴くノリノリ・キレキレの演奏よりもメロディーをじっくり楽しむことができる演奏でした。

4. サミュエル・バーバー作曲 弦楽のためのアダージョ

合唱でもアニス・デイの歌詞で演奏されることが多い、追悼番組でよく聴く曲。作曲者はこのような使われ方は心外だったようですが、演奏は素晴らしいもので、最後に消えるように終わる場面で本当に消え入るように終わり、このようなことができることに驚きました。

5. ジョージ・ガーシュイン作曲 ラプソディ・イン・ブルー

この曲を生で聴けて嬉しかったです。ピアニストのタッチが見える席でしたので手の動きを楽しむのはもちろんピアノ独奏部、ピアノとコントラバスのデュエットなどでのアドリブなどたくさん楽しめました。

6. アンコール

ラプソディ・イン・ブルーのピアノを演奏したアレクセイ・ヴォロディンによるピアノ演奏。

1曲目：カプースチン作曲 8つの演奏用エチュードより間奏曲

ジャズ要素満載の楽しい曲(角野隼斗さんがよく演奏しています)

2曲目：シーベルト作曲 美しき水車小屋の娘より1曲目

これもジャズ要素満載の演奏で楽しみました。

以前、シアトルで聴いたスラットキンの指揮は牽引力がすごく強く、曲づくりが明確で惚れ込みました。今回もまず指揮が美しく、テンポをずっと示しながらも全く拍節感を感じさせずに美しいメロディーを奏でて、群響の演奏も綺麗な音色でスラットキンの音楽を奏でた素晴らしいコンサートでした。スラットキンのステージでのしぐさもお茶目で観客を大いに楽しませてくれました。

演奏後はCDを買った人対象にサイン会が行われ、マエストロ・スラットキンは奥様と一緒にサインに応じていました。私は時間の関係で演奏後すぐに帰宅しましたが、その間ずっと余韻に浸っていました。



群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開し、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されており、2020年に創立75周年を迎えました。また、2019年9月に開館した「高崎芸術劇場」に活動拠点を移し、2023年4月に就任した飯森範親常任指揮者のもと、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指しています。

延べ600万人以上が鑑賞した移動音楽教室

1947年5月から始めた移動音楽教室では、2022年度までに延べ646万人を超える児童・生徒が鑑賞し、1982年からは高校音楽教室も開催されました。1955年、「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集め、翌年には文部省により群馬県が全国初の「音楽モデル県」に指定されました。さらに1961年、高崎市が群馬音楽センターを建設、これを拠点として幅広い活動が展開されています。

(群馬交響楽団ホームページより <https://www.gunkyo.com/>)

Back

「斎藤茂樹の北関東巡り」TOPへ戻る

Home

「ホームページ」表紙へ戻る